

# 事務事業評価表

平成24年度【23年度事後評価】

会計名称	一般会計					
事務事業名	細々目02 障害者体育大会開催事業					
予算区分	款	03	民生費		所属	障害福祉課
	項	01	社会福祉費			
	目	03	障害者福祉費		連絡先	0594-24-1171
	細目	003	障害者社会参加促進事業費			

## 事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	⇔ 下欄の対象指標	付記事項
障害者 (児)		
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇔ 下欄の活動指標	
○市体育館において障害者体育大会を開催する。 ・障害者団体連絡協議会に委託して毎年10月に実施 ・市家庭婦人バレーボール協会に30名程度のボランティア協力を得て実施		
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	⇔ 下欄の成果指標	
障害のため体を動かす機会が少ない様々な障害を持った方が参加できるイベントとして、障害種別を越えて交流を図り、スポーツの楽しさを感じてもらう。		

## 事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度当初	
対象指標	障害者 (児) 数	人	5,576	5,600	5,600	6,252	
活動指標	開催回数	回	1	1	1	1	
成果指標	参加者数	人	目標値 300	300	300	300	
			実績値 213	351	282		
		目標値					
		実績値					
投入コスト	事業費計			400	400	400	400
	財源内訳	国支出金					
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源		400	400	400	400
	所要人員 (正職員・嘱託)		人工	0.10	0.10	0.10	
	トータルコスト		千円	1,144	1,130	1,139	
単位当たりコスト		円	5,371	3,219	4,039		
単位当たりコストの考え方		参加者一人あたりの事業コスト					

## 進捗評価

(事務事業の成果とその向上余地について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- 計画どおり
- 概ね計画どおり
- 停滞

成果を向上させる余地はあるか。

- ある
- あまりない
- ない

年度によって参加者数の増減は見られるが、施設など団体での参加は増加傾向にある。ただし、団体での参加者が増えると、一般参加者が委縮し参加しにくくなるという問題点もある。